

緊急時児童引き渡しマニュアル

枚方市立樟葉西小学校

東日本大震災や大阪北部地震の発生は、平日昼間の発災であったため、学校管理下において避難した児童を無事に保護者に引き渡すことに、大変な苦勞をした学校が多数ありました。

- ①電話、携帯電話等が使えないため、避難経路、保護者への引き渡し等に困難を極めた。
- ②保護者らへの引き渡しの規定がなかったため、近所の人が厚意で自分の子と一緒に連れ帰り、親と一時行き違いになることがあった。「必ず保護者に引き渡す」というルールが必要であった。
- ③保護者への引き渡し等について、決めていなかったので、下校に時間を要した。
- ④道路状況が悪く、交通の混乱が予想以上で親に引き渡すまでにかなりの時間を要した。 等

（「東日本大震災における学校等の対応等に関する調査研究報告：文部科学省」）

上記のようなことを踏まえて、災害発生時の基本的なルールを決め、緊急時に保護者（引き取り者）に対して、確実に児童を引き渡すことができるように訓練を実施します。

このマニュアルは、訓練のためのものではなく、実際の緊急場面でも以下の流れに沿って児童の引き渡しを進めますので、十分な理解と速やかな行動をお願いします。

◆引き渡しのルール◆

① 引き渡しが必要と想定される事象

- ・震度5弱以上の地震発生
- ・児童の生命・安全に関わる極めて重大な事故、事件発生時
- ・その他、学校から保護者へ児童を安全に引き渡す必要があると学校長が判断した時

※特に、地震が発生した際には、電気・ガス・水道・通信等のライフラインが途絶えることも想定されます。そのため、以下のことを取り決めます。

	地震発生時のルール
児童が在校中	・ <u>震度5弱以上の地震が発生した場合は</u> 、引き渡しによる下校とする。（保護者の迎えがあるまで、学校に待機させる） ・震度4以下では、異常がなければ授業を再開する。 通学路の安全を確認の上、集団下校等、安全に配慮して下校する。
児童が登下校中	・危険物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない安全な場所に避難し、揺れが収まったら原則として登校する。
児童が在宅中	・ <u>前日の下校以降、登校までに震度5弱以上の地震が発生した場合は</u> 、当日を臨時休校とする。 <u>土・日・祝日及びその前日に発生した場合は</u> 、休業日明けを原則臨時休校とする。

② その他(お願い)

▼原則、自家用車での来校はご遠慮ください。災害発生時の自動車の利用は、大渋滞をもたらし、結果的に引き渡しを遅らせることにもなります。被災状況にもよりますが、道路が通行不能になることも想定されますので、徒歩や自転車で学校へ来ていただくようにお願いします。

▼大規模災害発生時には、多大な混乱をきたすことが想定されます。原則マニュアルに沿って、引き渡しを実施する方向ですが、臨機応変な対応をお願いします。

また、災害発生直後には児童の安全優先で行動するため、学校に電話をいただいても対応できないことが想

定されます。このマニュアルと、実際の災害の状況等から判断していただく場面があるかと思います。
何卒、ご協力よろしくお願いします。

▼このマニュアルは、年1回ご家庭に配布しますので保管をお願いします。

◆引き渡しの流れ◆

流れ	
	緊急事態発生(引き渡しの必要事案)
震度 5 弱以上の地震発生、メール配信等	保護者等(引き取り者) 学校配信メール、電話等を通じての緊急連絡、または、震度 5 弱以上の地震発生の場合、学校に引き取りへ向かう。※自家用車での来校はしない。 学校へ到着したら、引き渡し場所の確認をする。(原則、晴れ：運動場 雨：体育館) →引き渡し場所は、緊急事態の概要や被災状況等により変更になる場合があります。 職員の誘導に従い、規律を守って行動してください。準備が整うまで引き渡し開始を、お待ちいただく場合もあります。 会場図のように、お子さんのクラスの列の前の、保護者の引き取りの列に並ぶ。 その際、兄弟姉妹がいる場合、特に引き取りの順番を設けていないので、状況を見て並んでください。
引き渡し開始	引き取りの順番が来たら、確認場所で学年担任に次のことを伝える。 ① 引き取り者の名前 ② (児童との)続柄 例「樟西 太郎の母です。」 学年担任(場合によっては担任以外の教職員が対応する場合があります)が、「大災害時引き渡しカード」の「引き取り人欄」を確認し、確認場所にお子さん呼びます。 引き取っていただき、他クラス、他学年に兄弟姉妹がいる場合は、そのクラスの保護者列に並びなおして、上記と同様に引き取りをしてください。 ※児童全員、保護者(引き取り者)の方へ引き渡すまでは、学校で待機させます。

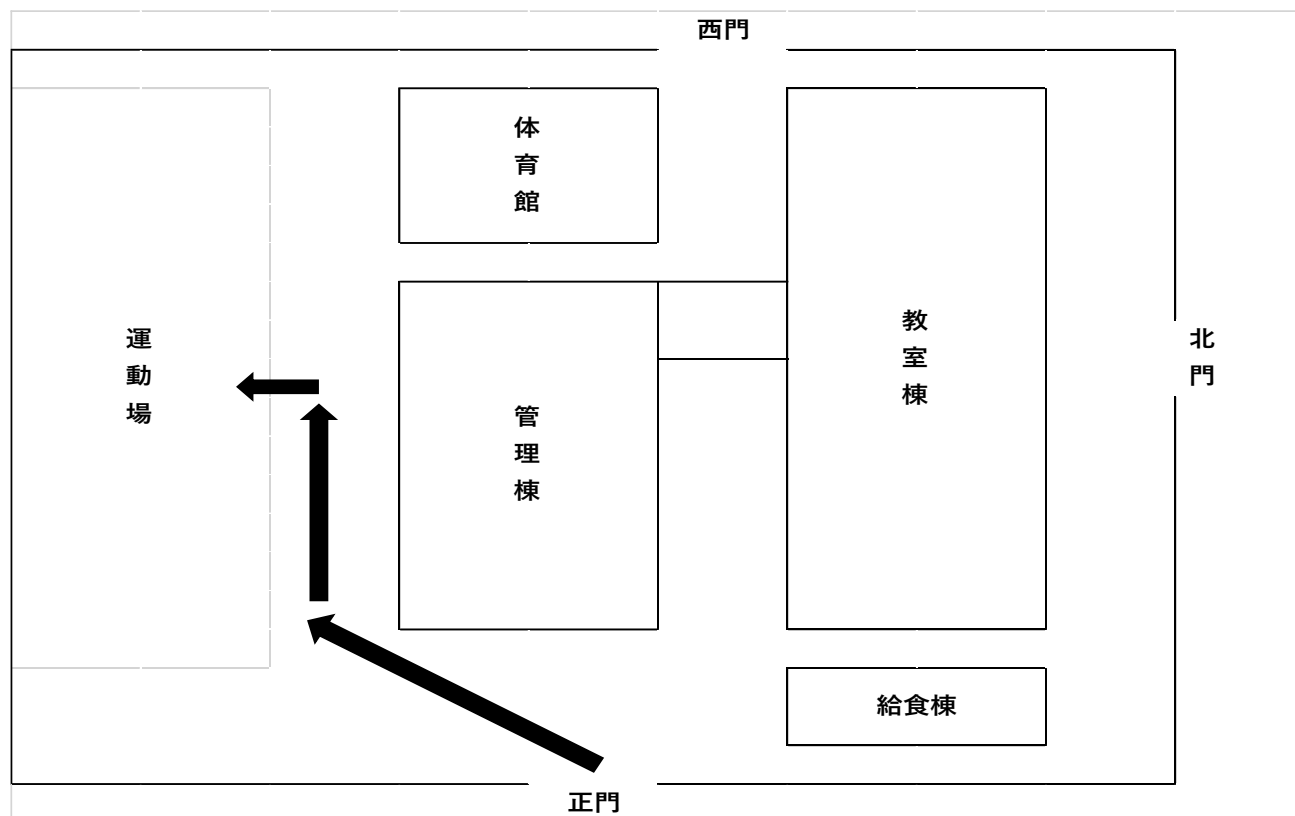
引き渡し後は・・・

被災状況によりますが、学校再開までの間に児童の心身の状態やご家庭の被災状況の把握のために、学校からコンタクトをとることがあります。通信が可能な場合には、「大災害時引き渡しカード」に記載されている緊急時連絡先への電話連絡や、学校配信メール・classroomでの連絡を優先的に行います。家庭訪問や避難所訪問を実施することもありますのでご協力よろしくお願いします。

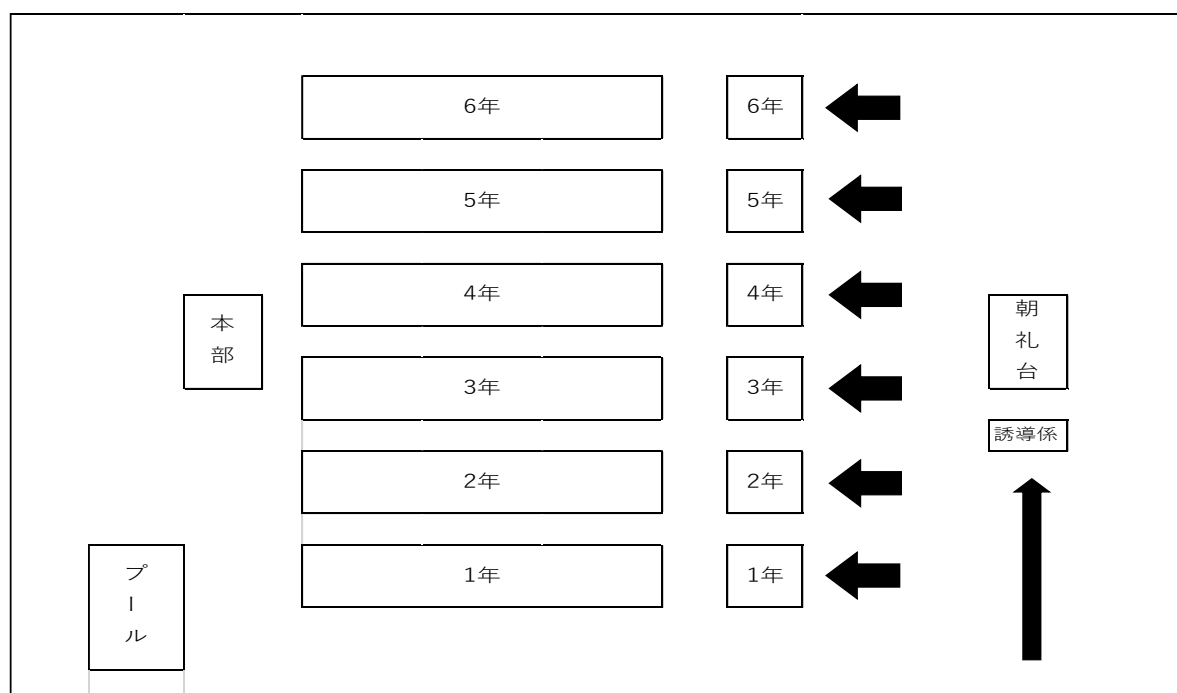
いつ起こるかわからない自然災害に備えて、日ごろからご家庭で避難場所の確認や避難時持ち出し品の準備等していただくようにお願いします。

◆晴天時の会場図◆

《全体図》



《運動場》

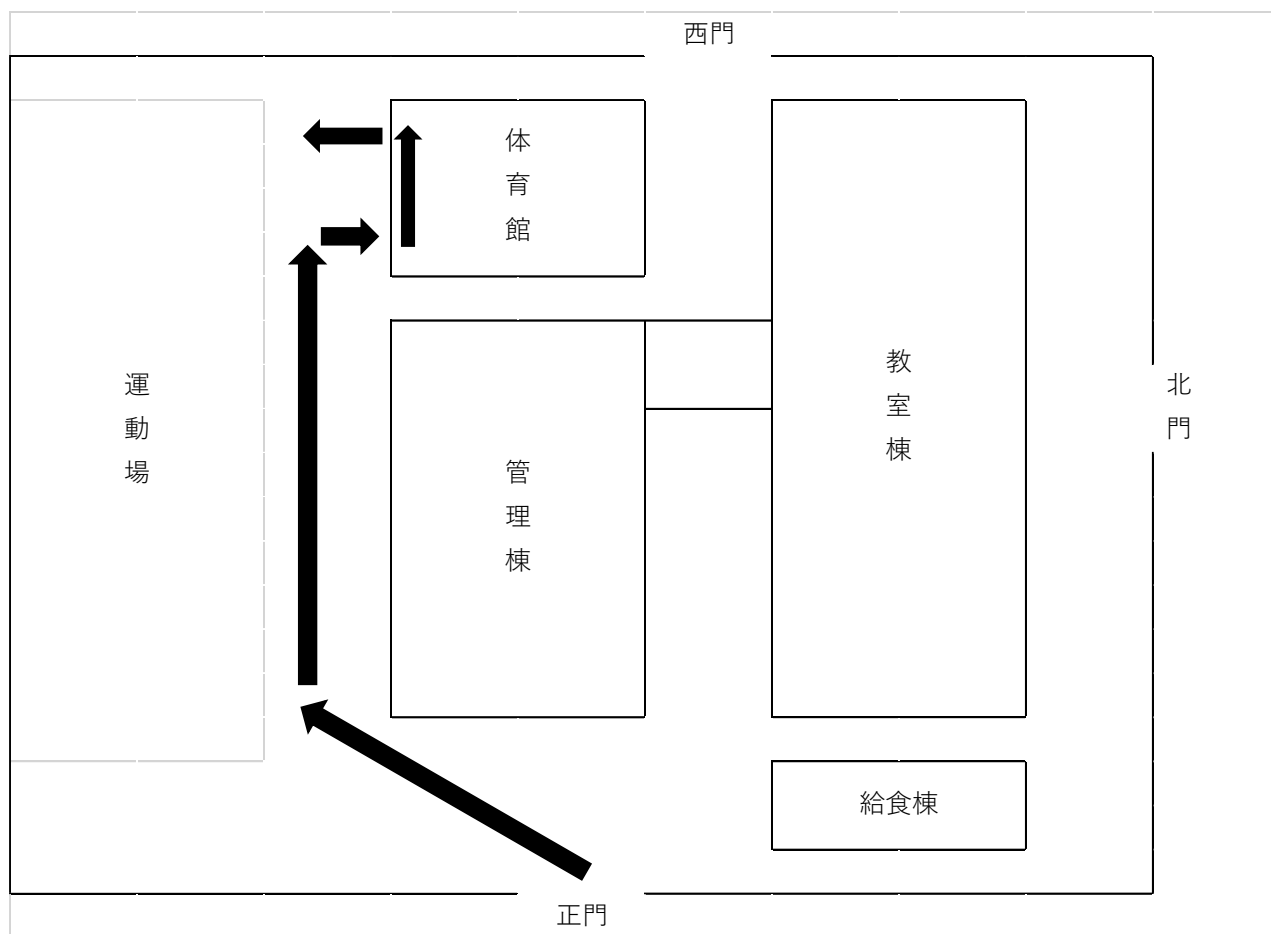


※向かって左側から1組2組3組の順に並んでいます。

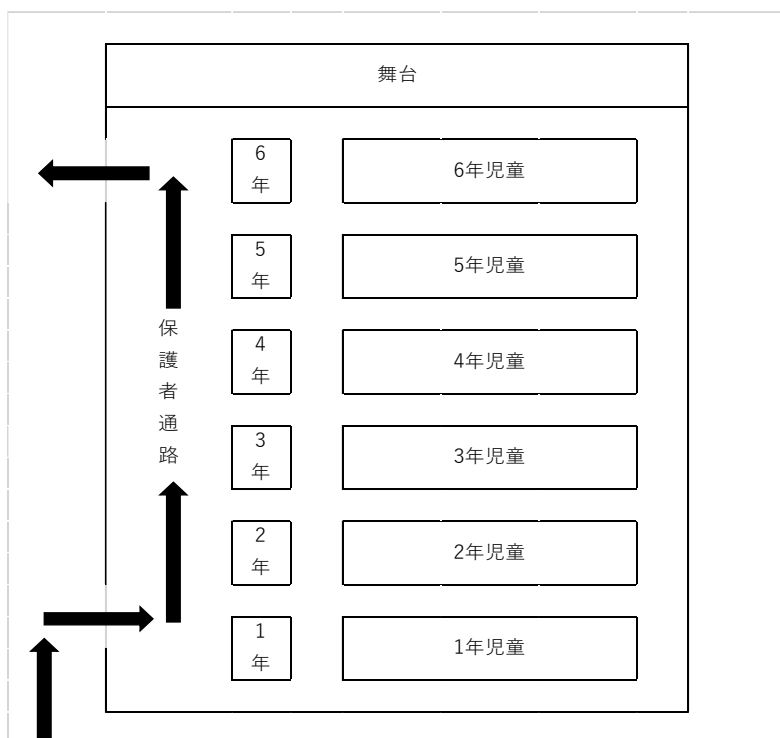
※他学年に兄弟姉妹がいる場合には、順路に従い低学年のお子さんから引き取りを行ってください。

◆雨天時の会場図◆

《全体図》



《体育館》



※向かって左側から1組2組の順に並んでいます。

※他学年に兄弟姉妹がいる場合には、順路に従い低学年のお子さんから引き取りを行ってください。